



らびっとにゆうず VOL97 2005年 7 月 20 日号

発行：特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（通称 アリスセンター）
TEL045-212-5835 FAX045-212-5826
E-MAIL alice@jca.apc.org http://www.jca.apc.org/alice

トピックス

8/1『新しい“公共”を作るための市民・NPOパワーアップ講座 ～県の総合計画と財源の関わりを知ろう!!』開催のお知らせ

県の財政ってどうなっているんだろう？「神奈川力構想・プロジェクト51」の財源はどこから来ているの？
わかりそうでわからない、県の財源と事業の関係を理解して「新しい“公共”作り」参加しよう!!

- ゲスト：神奈川県企画部政策課 職員、進行：谷本有美子（拓殖大学政経学部非常勤講師、アリスセンター理事）
- 日時：2005年8月1日（月）18:30～20:45
- 場所：かながわ県民活動サポートセンター604号室（横浜駅西口徒歩5分）
- 対象：市民・NPO 30名
- 参加費：2,000円（アリスセンター正会員は無料、準会員は1,000円）

7/29『自治体職員のためのNPO講座 ～改めて考える NPO施策の理論と実践～』参加者募集中です

「特定非営利活動促進法（NPO法）」成立以降、都道府県での認証のための条例づくりに始まり、市町村においてもNPOの支援、連携、協働とさまざまな施策の展開や事業の推進が行われてきました。しかしそれらの動きは本来の目指すべき方向に進んでいるのでしょうか？自治体の内部においても必ずしもまだまだ浸透しきらない「NPOと行政」の関係のあり方について、改めて考えていく機会としたいと思います。

- 日時：2005年7月29日（金）10:00～17:00（情報交換会17:00～19:00）
- 会場：かながわ県民センター11階 協働・交流スペース（※ご注意：会場の階数が変更となりました!）
- 対象：自治体職員（主に都道府県、市町村のNPO関連部署職員）。定員90名
- プログラム
 - 開会 趣旨説明
 - スタートアップセミナー：「社会にNPOが必要とされる理由とNPO法」 講師：山岡 義典（日本NPOセンター副代表理事）
 - レクチャー1 テーマ：「犯されるNPO法の精神 ～法人認証と運用のあり方～」
講師：松原明（シーズ・市民活動を支える制度をつくる会事務局長）、川崎あや（まちづくり情報センターかながわ事務局長）
…法の成立過程・趣旨、条例の意味、NPOの情報公開等について解説するとともに、運用により法の趣旨が犯される危うさについて考える。
 - 昼食休憩
…13:10～13:35に「かながわ県民活動サポートセンター」の館内ツアーを実施します（希望者対象）。
 - レクチャー2 テーマ：「本当にNPOと行政の協働が必要なのか？」
講師：萩原なつ子（日本NPOセンター常務理事）、椎野修平（かながわ県民活動サポートセンター サポート部長）
…神奈川県でパートナーシップルームができた経緯などを紹介しながら、協働を推進するためのしくみについて考える。
 - レクチャー3 テーマ：「官設民営のNPO支援センターのゆくえ」
事例報告者：菊池修（特定非営利活動法人えひめNPOセンター代表理事）、手塚明美（藤沢市市民活動推進センター理事）
コーディネーター：田尻佳史（日本NPOセンター事務局長）
…現在、官設民営が主流となっているNPO支援センター運営委託の課題等について、パネルディスカッションを通して考える。
 - 情報交換会…講座終了後、会場を移して行います（参加費別途2,000円程度）。自治体の施策に関する情報交換、日頃の疑問や悩みを語り合しましょう。

■参加費：1名：4,000円、正会員2,000円（※日本NPOセンター及びアリスセンターの自治体会員は2名まで2,000円）

■共催：日本NPOセンター、まちづくり情報センターかながわ、協力：かながわ県民活動サポートセンター

■申込締切 2005年7月22日（金）

申込用紙に必要事項をご記入の上、下記までお申し込み下さい。後日参加通知をお送りします。

日本NPOセンター（担当 岩崎） TEL：03-5220-3911 FAX：03-5220-3912 E-mail：aichil@jnpoc.ne.jp

8/5～6「団体の力を高めよう!!『NPOブラッシュアップセミナー』(第3・4回) 追加募集のお知らせ

日々の活動のなかで、さまざまに生まれてくる組織内外の課題。それらを乗り越え、地域で信頼される組織としてより充実した活動を進めていくために、自分達の団体の組織力を高めたい!!と思いませんか? 今回、全国の中間支援センターのトップランナーを講師にお迎えして、『ガバナンス力』をキーワードに組織力強化のための講座を開催いたします。自団体をステップアップさせてゆ�ために、ぜひ、ご参加下さい。神奈川県内だけではなく、東京、千葉、埼玉のみならず、ぜひ足をお運び下さい。

【プログラム:連続講座】※第1回、第2回はすでに終了いたしました。

◆第3回(8月5日(金)13:00～17:30) 「組織を正しくわかりやすく伝える ～情報発信のあり方」

◆第4回(8月6日(土)10:00～15:30) 「組織の価値を高める ～活動評価のあり方」

※以上四つのテーマを、講義とワークショップを織り交ぜ、理論と体験の中から学びます。

(講座の詳細はこちら→ <http://www.jca.apc.org/alice/alice/seminar/kanto.pdf>)

【会場】 明治安田生命ラジオ日本ビル3F A会議室(横浜市中区長者町5-85)

【参加費】 1団体:5,000円(2回参加)

【主催】 日本NPOセンター ブラッシュアップセミナー企画委員会

【共催】 まちづくり情報センターかながわ

【協賛】 フィリップ モリス ジャパン株式会社

【お申し込み方法】

申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送かFAXでアリスセンターまでお申し込み下さい。

FAX:045-212-5826、〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1 横浜ワールドポーターズ6F

もしくは、申込用紙にある必要事項をきれいに記入いただければ、メール(alice@jca.apc.org)でもお申し込みを受け付けます。

今日のアリス

前回「らびつとにゆうず」96号を発行したのもつかの間、早くも97号の発行日がやってきて、「今日のアリス」のネタにつまっています。

嶋田(我孫子市インターン): なんとというか、最近連載マンガ家の苦しみがわかってきたような気がしますよ…。

石塚: あ、悩んでる 悩んでる。

(奥のテーブルでは「神奈川子ども未来ファンド」の皆さんが打合せをしていて、ときおり楽しげな笑い声が…。いっそのこと、そのネタをもらって「今日のアリス」を書いてしまおうか? 悩む嶋田です)。

いつも発行ぎりぎりになってから考えるのですが、次回からは日頃からたくさんネタを拾っていきたくと思っています。

(※川川:そういうネタはいつも転がっているのだから、ちゃんと拾っておかなきゃだめよ!)

助成金情報

応募期間: 平成17年7月1日～8月19日(金)

平成17年度 横浜市市民活動推進助成金の募集

内容: 市民活動団体が組織的かつ継続的に活動を行えるよう、事務所経費の助成を行います。団体の事務所として賃貸契約をしている場合は事務所借上費(家賃)の一部を、また、自宅の一部を団体の事務スペースとして使用している場合は光熱水費の一部を助成します。(3回以内)

主催: 横浜市市民協働推進事業本部

連絡先: 横浜市市民協働推進事業本部 市民活動支援担当

<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/tishin/npo/joseikin2.html> 申込方法: 詳しくはホームページにて

TEL:045-671-3680 FAX:045-664-0734

締切: 8月19日(金) 必着

応募期間: ①・②平成17年8月8日～9月29日、

③ 平成17年8月8日～9月8日

「かながわボランティア活動推進基金21」募集

内容: ■①協働事業負担金

・地域社会に必要な公益的な事業で、ボランティア団体等と県が協働することで効果が高まると期待できる事業(実施:平成18年度) ・1000万円を上限として、事業に要する経費を最長5年間負担します。

■②ボランティア活動補助金

・地域が抱える課題の解決に向けて自発的に取り組む事業や、社会システムの改革を目指してチャレンジする事業(実施:平成18年度) ・200万円を上限として、事業に要する経費の2分の1を最長3年間補助します。

■③ボランティア活動奨励賞

他のモデルとなるような活動に取り組んでいる団体等を表彰し、副賞として賞金(団体100万円、個人50万円を限度)を贈呈します。

主催: 神奈川県

連絡先: かながわ県民活動サポートセンター 基金事業課

TEL:045-312-1121(内線2831、2832) FAX:045-312-4810

kikin@kvsc.pref.kanagawa.jp

<http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/index.html>

申込方法: 募集要項は7月28日より配付、ホームページからもダウンロード可。

締切: ①・②平成17年9月29日、③平成17年9月8日。

※郵送の場合は消印有効

いべんととあんない



基本的に新着情報のみをお知らせいたします。予定が変更される場合もありますので、イベントに参加される方は、必ず主催者に確認をお願いします。イベント情報をお寄せください。インターネットをお使いの方は、アリスのHPに情報掲載依頼欄があります。お使いでない方は、イベントのチラシをFAXしてください。

2005年7月22日（金）18:30～21:00

東海村JCO9・30臨界被曝事故 6周年行動立ち上げ集会へ

内容：●報告1. 大泉実成さん(臨界事故被害者の会)「健康被害裁判の争点と東海村の今」「住民被曝者はいたが、住民の健康被害者はいなかった」ことにするのは、国家の犯罪です。
2. 望月彰さん(たんぽぽ舎)「原子力学会・臨界事故報告書の功罪」(「現代の理論」(言論NPO・現代の理論)2005年夏号参照)臨界事故から6周年、真実を語る材料がしだいに増えています。いよいよ、正しい世論をもとめて立ち上がるべき時です。臨界事故は、事故を起こしただけでも犯罪ですが、この責任を末端の作業者に押し付け、虚偽の世論を作ったのは国家の犯罪です。 会場：たんぽぽ舎

主催：臨界事故を忘れない9・30の会
連絡先：〒101-0061東京都千代田区三崎町2-6-2ダイナミックビル5F
TEL:03-3238-9035 FAX:03-3238-0797
<http://www.jcan.net/tanpoposya/hyoushi.htm>
参加費：1000円(資料代+大泉さん交通費カンパ)

2005年7月23日（土）9:30～11:00

夏の舞岡川に入ろう！ おさかなとりと川そうじのお誘い

内容：おさかなとりに挑戦したり、川の生物と出会う、舞岡川の魅力を再発見してみませんか。当日は、川の生物に詳しい研究員の先生による舞岡川の生き物や水環境などについての解説コーナーもあります。持ち物：濡れても良い服装、くつ(ビーチサンダル不可、学校の上履きなどズック靴)、帽子、魚採り用の網(貸す分もあり)

主催：まいおか水と緑の会
連絡先：高橋 090-9318-0303 ※電話が留守の場合は留守電にお名前と連絡先を入れてください。折り返し電話します。
集合：舞岡川かるがも橋(舞岡小学校前)

2005年7月23日（土）13:30～16:00

地球市民学習リーダーセミナー

内容：テーマ「水はいったいだれのもの？世界の水をめぐる課題と私たちがつながるには」
私たちが生命を維持するために毎日必要な水。その水を私たちは等しく分かち合っているで

のでしょうか？また、食糧や工業製品を作るためにも水は欠かすことができません。さて日本に輸入される食料や工業製品を、それを作るのに必要な水の量に換算すると…。世界の水をめぐる様々な課題を中心に今の世界を考えると、見落としてきたことに気づきます。今回は、佐久間智子さん(「環境・持続社会」研究センター)を講師にむかえ、お話を聞きます。そして、水を大量に消費している日本で暮らす私たちにできることを考えます。

○おもな対象：NGO活動やボランティア活動に興味がある人、活動に参加してみようと思っている人

主催：(財)神奈川県国際交流協会 担当：藤分
TEL:045-896-2896 FAX:045-896-2945
kikaku@k-i-a.or.jp 参加費：無料
<http://www.k-i-a.or.jp/seminar/leader-seminar2005/>

申込方法：電話、FAX、Eメールのいずれかの方法で、講座名、氏名(ふりがな)、所属(学校名や何か参加している団体など)、連絡先(電話、FAX、Eメール)、Eメールアドレスへの講座情報提供の希望有無をお知らせください。
会場：あーすぷらざ1階・大会議室

2005年7月23日（土）ほか

民族音楽ワークショップ

内容：世界のいろいろな音楽と踊りを体験しましょう。講師：三縄公一(鎌倉女子大学教授)、山口悦郎(スチールパン制作者) ①7月23日(土)、②9月10日(土)、③10月15日(土)、④11月26日(土)。時間は①～③は13:30～15:30、④は13:30～16:00。各回のみ参加OKです。

主催：あーすぷらざ gakushu@k-i-a.or.jp
TEL:045-896-2899 <http://www.k-i-a.or.jp/plaza>
申込方法：自由参加(事前申込み不要)、定員なし
参加費：小中学生100円、高校生300円、大人500円
会場：あーすぷらざ

2005年7月24日（日）13:00～17:00

ボランティア向けワークショップ

内容：「アートと環境」は、子どもから大人までの参加者が、土や葉っぱなどを用いて絵を描くワークショップです。描かれた絵にはこの土地の環境が反映されます。このワークショップを8月20日(土)、11月6日(日)に行うにあたり、プ

ログラム運営ボランティアを大募集します。7月24日(日)にボランティア向けワークショップを行いますので、授業に取り入れたい教員の方、プログラムに興味のある方、是非ご参加ください。一つの大きな地域連携事業を目指しています。一緒に地域を楽しんでみませんか。

★詳しくはホームページを。

主催：神奈川県・神奈川県国際交流協会

TEL:045-896-2899

<http://www.k-i-a.or.jp/news/art/volunteer.html>

集合：あーすぶらさ1階ワークショップルーム。

2005年7月26日 18:30~20:30

自治体まちづくりの実践と研究から

原昭夫さんミニ講演会(第20回自治体学会・神奈川大会実行委員会準備会への参加のお誘い)

内容：自治体学会は、自治体政策の理論と実践の融合を目指す新しい生きた学問の可能性を探る学会です。来年2006年8月に、自治体学会第20回大会が、この神奈川で開催される予定です。私ども、県庁・県内市町村の職員有志によって、大会の企画・運営を自発的に担う「神奈川実行委員会」の準備を進めており、今年の秋に、田村明さん(地域プランナー、法政大学名誉教授)を呼びかけ人代表に、設立フォーラムを準備しています。市民・NPO・議員・研究者・自治体職員からなる実行委員会の活動に関わってみたい方、とりあえず、どんな活動かのぞいてみたい方、友人をお誘いのうえお気軽にご参加ください。■ミニ講演会講師：原昭夫さん(自治体学会企画部会長)…地域プランナー。技術士(都市および地方計画)。一級建築士。1942年東京生まれ。東京都庁、名護市役所(沖縄県)、世田谷区役所(東京都)で都市計画、建築、都市デザイン、住宅、まちづくり等に従事。現在千葉大学(工学部・都市環境システム学科)客員教授。自治体まちづくり研究所主宰。

alter.minoru@nifty.com

申込方法：※参加は自由。当日直接お越しください。

会場：神奈川県民活動サポートセンター1503会議室

2005年7月28日(木)~8月2日(火)

10:00~18:30(最終日18:00)

写真展-Nuclear Blue 核に蝕まれる地球

内容：【展示内容】100点インドのウラン鉱山ジャドゴダ、旧ソ連のチェリャービンスク核工場、イラクのツワイサ核施設、アメリカのハンフォード核施設、チェルノブイリ原子力発電所、旧ソ連セミパラチンスク核実験場、アメリカネバダ核実験場マーシャル諸島核実験、イラクの劣化ウラン弾汚染、ヒロシマ・ナガサキと反核運動など

■対談 2005年7月31日(日) 17:00~18:00

森住卓・きくちゆみ。ヒロシマ・ナガサキから60年。しかしそれは過去の悲劇ではありません。核の脅威は無くなるどころか世界各地に広がり、

新たなヒバクシャを生み出しています。原料であるウラン採鉱の現場から、その精製を行う核工場、「平和利用」の原子力発電所、核実験、そして廃棄物から産まれた劣化ウラン弾。それら全ては常に核汚染の危険をはらみ、地球と私たちを蝕んでいくのです。

<http://morizumi-pj.mint.cx/nuclearblue.htm>

会場：新宿紀伊國屋本店画廊4F 入場無料

2005年7月29日(金) 14:00~30日(土) 16:00

『市民政府』研究会・研究学習会

内容：□テーマ「市民参加・合意形成手法」について一諸外国事例から<討議>・<熟議>民主主義を学ぶ 講師：研究者、研究会メンバーなど
□目的：①「市民参加・合意形成研究会」の研究成果の公表、②市民参加に関する諸外国・国内事例をもとにそのしくみ(制度的)課題を学ぶ、③<討議>・<熟議>民主主義の実践に向けた市民参加・合意形成手法を学ぶ

主催：市民がつくる政策調査会

連絡先：〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド3F・302

TEL:03-5226-8843 FAX:03-5226-8845

shimin@c-poli.org 申込方法：FAXにて

参加費：20,000円(宿泊費・食事代込み)

会場：幕張セミナーハウス(新習志野駅下車)

2005年7月30日(土) 13:00~15:45

無防備地域宣言運動国際シンポジウム~戦争のない世界を目指して~

内容：「戦争をとめるために~無防備運動を世界へ」パネリスト：スティーブ・フリードキン、クリストフ・バルビー、アザド・アフマド、大田幸世、高畑宅ニ コーディネーター：矢野秀喜

主催：無防備地域宣言運動全国ネットワーク、平和と民主主義をめざす全国交歓会

連絡先：平和と民主主義をめざす全国交歓会

TEL:03-3267-0156 FAX:03-3267-0158

info@zenko-peace.com 会場：鶴見会館

<http://www.zenko-peace.com>

参加費：2000円(31日に同会場で開催の全国会議「無防備宣言条例を実現するために」参加費を含む)

2005年7月30日(土) 9:50~15:00

アマモ種子選別会と城ヶ島・海体験

内容：小学生から大人まで楽しめるよう企画を考えてます。皆様のご参加をお待ちしています。

■午前の部 開講挨拶、アマモについての紹介、種子選別作業、海の小動物を見る

■午後の部 磯の生き物観察・アマモ場観察、今日のまとめ【ご持参ください】昼食、飲み水、水着、バスタオル、ぬらしても良い靴(ビーチサンダルは不可)、帽子、軍手、着替え、採取、観察用具、スノーケルセット(もしあれば)

主催：金沢八景~東京湾 アマモ場再生会議

連絡先：神奈川県水産技術センター 工藤孝浩

TEL:046-882-2314 FAX:046-881-7903

申込方法：特に必要ではありませんが、事前に連絡をいただくと嬉しいです。

会場：神奈川県水産技術センター（三崎口駅から城ヶ崎行きバス30分、白秋碑前下車）

2005年7月30日（土） 13時～20時

HEY!!WA!!—それぞれの平和—

内容：野外映画会（アニメ／木を植えた男・せんすい艦に恋をしたくじらの話・雨はやさしく）
後藤勝スライドトーク（アチェの子どもたちとの写真プロジェクト）／アートワークショップ（水風船で世界地図を作ろう）／かみしばい／手回しオルゴール／ライブコンサート（太鼓・エイサー・コーラス・バンドなど）／フリーマーケット。平和をテーマに様々な団体・個人が集まります！夏の一夜を楽しく過ごしその中でそれぞれに「いのちの尊さ」「平和の大切さ」を感じてください！ボーカリストの朱里香さんも出演していただきます！みなさんお出かけくださいね！

主催：HEY!!WA!!実行委員会 連絡先：三澤
TEL:046-849-1694（留守電可）

会場：横須賀市役所前公園

2005年8月1日（月）～12日（金）

11：00～12：30と14：00～15：30（全10回）

夏休み 子ども にほんごきょうしつ

内容：全国日本語教師会神奈川県支部では外国からきた児童を対象にしたボランティア日本語教室を開講します。■8月1日（月）～12日（金）※土日を除く10日間①11:00～12:30、②14:00～15:30 ■対象：①神奈川県内の小・中学校に通う児童・生徒②来日1年以内で、まだ学校生活などの生活言語の習得が不十分な人（来日1年以上でも、生活言語の習得が不十分な場合は要相談）※クラス形態：4クラス（レベル別）午前・午後2クラスずつ

主催：（特）全国日本語教師会 担当：佐藤

TEL:045-641-7728 FAX:045-222-0351

kanagawa@eii.jp 締切：2005年7月22日

参加費：無料（教材費1,000円）

会場：（特）全国日本語教師会 神奈川県支部（横浜市中区万代町1-2-12 共立関内ビル2F）

2005年8月2日（火）午後6時半

基地の苦しみはもういやだ！「ある熱い心のページ 辺野古のたたかいの記録」

内容：ビデオ上映とトーク（外間三枝子さん…沖縄一坪反戦地主関東ブロック）

主催：戦争反対・平和の白いリボン神奈川

TEL:045-788-0838

会場：かながわ県民センター 711号室

2005年8月5日（金）18:00～20:00

参加型システム研究所定例研究会 「歴史教科

書問題と靖国参拝」

内容：講師：高橋哲哉さん（東京大学大学院総合文化研究科教授）問題の背景はどこにあるのか、その歴史認識や国家観、ナショナリズムがどのように形成され、何が問題なのか、理解したいと思います。高橋さんはこの間、歴史教科書問題、愛国心教育に代表される教育基本法改正の動き、日の丸・君が代問題等、国家と市民社会の権力のあり方をテーマに、反対運動の先頭にたってこられた方です。今回、おいでいただく上で大勢の方に聞いて欲しい、との要請をいただいています。お誘い合わせの上、多数ご参加ください。参加費：資料代500円

主催：（特）参加型システム研究所 担当：林田

FAX:045-222-8721 締切：7月20日（水）

会場：横浜市開港記念会館（1000人規模）

2005年8月6日（土）14：00～16：00

「プロジェクト帰国報告会」

内容：マリ共和国におけるプロジェクトの最新情報（荒廃地での試験植林やバオバブ等の苗木配付等）を、写真を使って報告します。

主催：NPOサヘルの森 TEL:080-5492-8649

参加費：資料代 500円

会場：東京ウイメンズプラザ第一会議室（03-5467-1711）、国連大学隣 渋谷駅・表参道駅から徒歩

2005年8月6～7日、13～14日、20～21日（全3回）

夏休み、森づくりボランティア体験

内容：①箱根芦ノ湖風景林 8/6～7：下草刈り、宿泊食事代：6500円。②富士山自然休養林 8/13～14：下草刈り、宿泊食事代8000円（バス代含む）。③長野県北八ヶ岳 8/20～21 修景除伐、宿泊食事代6500円、バス代3000円＜各回共通＞参加費2500円、保険料500円、定員30名

主催：地球緑化センター 締切：実施日の10日前

TEL:03-3241-6450 FAX:03-3241-7629

<http://www.kk.iij4u.or.jp/~gec/>

2005年8月7日（日）13：30～15：30

【ヒバクシャ～世界の終わりに】上映会

内容：イラク、アメリカ、広島の人々の日常から被爆の現状と課題を知るドキュメンタリー。

主催：さいわい「ヒバクシャ」上映実行委員会、川崎市教育委員会（市民自主企画事業）

TEL:044-541-3910 入場無料（当日直接参加）

会場：川崎市幸市民館 大ホール

2005年8月7日（日）、9月4日（日）

国際海岸クリーンアップ2005ミーティング

内容：9月18日（祝日、月）に鵜沼海岸でクリーンアップを開催します。今回は当日のお手伝いをしてくれるボランティアの方を募集いたします。

主催：川と海の環境を守る会、JEAN

TEL:090-4414-0051

会場：藤沢市民活動センターほか

2005年8月7日（日） 10:00～12:00

舞岡川流域定例ウォッチング

内容：まいおか水と緑の会では、偶数月の第1日曜日の午前中に舞岡川流域を歩きながら、決まった場所の川の様子を観察しています。自然の多い散歩コースですので、舞岡の魅力を再発見したい方、ぜひご参加ください。

主催：まいおか水と緑の会 TEL:090-9318-0303高橋
集合：舞岡地区センター玄関

2005年8月18日、19日、22日

かながわボランティア活動推進基金21 募集説明会

内容：県内4ヶ所でかながわボランティア活動推進基金21の募集説明会を開催します。

- ①8月18日14時～県横須賀合同庁舎
- ②8月18日18時30分～かながわ県民センター
- ③8月19日14時～ひらつか市民活動センター
- ④8月22日14時～県高相合同庁舎

連絡先：かながわ県民活動サポートセンター基金事業課 kikin@kvsc.pref.kanagawa.jp

TEL:045-312-1121 FAX:045-312-4810

<http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/index.html>

2005年8月20日（土） 9:00～15:00

オールクリーン野島ビーチ2005（第2回）

内容：横浜で唯一残された自然海浜を守りましょう。第2回はオールクリーン&グリーン野島ビーチ1回目で植栽したアマモを観察・海浜清掃・生きもの観察を行います。お弁当持参、濡れても良い服装で（着替え必要）参加費：無料

連絡先：海をつくる会 事務局

FAX: 045-313-6160 umiotsukurukai@yahoo.co.jp

申込方法：参加グループの代表者、住所、連絡先+参加者数を記載しFAXかメールで事務局まで。

2005年8月26日（金）～28日（日）

土のおいの子 ～青空自主保育なかよし会20年のあゆみ～

内容：なかよし会は園舎を持たず自然の中で思いっきり遊ぶ自主保育の会です。なかよし会のこれまでの活動を振り返りながら、子どもがいつまでも泥んこになって遊びまわり、生き生きと育っていけるような環境と子育てについて、一緒に考えてみませんか？

■展示発表 8/26-12時～16時45分、8/27-9時～16時45分、8/28-9時～15時30分

- 1. なかよし会のあゆみ、2. なかよし会の保育、3. 関連団体の展示発表

■フォーラム開催 8/28-13時～16時 話題提供：相川明子（なかよし会保育者）「子育て、親育ち、世育ち」 談話会：子育てや環境について皆さんとともに考えます。

主催：青空自主保育なかよし会 連絡先：西野

FAX:0467-33-1470 Wanpakukid@aol.com

参加費：無料（フォーラム、託児とも）

会場：鎌倉商工会議所 0467-23-2561

2005年8月27日（土）13:30～17:30

劣化ウラン研究会 総会&記念講演会

内容：総会/記念講演/懇談会（森住さんを囲んで懇談）講師：森住卓さん（フォトジャーナリスト） 主催：劣化ウラン研究会

TEL:03-3238-9035 vfa01742@yahoo.co.jp

<http://www.jca.apc.org/DUCJ/index-j.html>

参加費：講演会参加費800円 懇談会参加費200円（総会参加費は無料）

会場：たんぼぼ舎（東京都千代田区三崎町2-6-2ダイナミックビル5F）

2005年8月27日（土） 14:30～17:30

アガペ祭 ～できることを世界に～

内容：身体障害者総合福祉施設アガペセンターでは、アガペ祭を開催いたします。◆模擬店各種、地域作業所の出店、アトラクション、バザー、お笑い芸人ステージ 参加費：入場無料

主催：アガペ祭実行委員会 TEL:046-254-7111

会場：アガペセンター 座間市小松原2-10-14

2005年8月31日（水） 14時開場、14時30分開演

新沢としひこ&ケロポンズおやこコンサート （おやこの広場びーのびーの5周年記念事業&共同募金配分金事業）

内容：元保育士のシンガーソングライター、新沢としひこ&ケロポンズの人気ユニットによる、おやこで楽しめる、笑いあり、歌あり、遊びありの楽しいステージ

主催：びーのびーの<http://www.bi-no.org/top.html>

TEL:045-549-5210 FAX:045-549-5266

申込方法：チケット購入はびーのびーの大倉山ひろばまでお電話でお申込みください

参加費：大人（中学生以上）2500円、子ども（4歳～小学生）1000円、親子（大人・子ども各1名）3000円、席を必要としない4歳未満は無料

2005年9月3日（土）～4日（日）

森と木のインタープリター養成講座

内容：おいしい水を送り続けてくれる「横浜の水源・道志村の森」を舞台に、様々な体験活動を通して「森のゆくえ」や「これからの暮らしかた」について考えてみませんか？森林に関する講習と実習、そして現地の木を使ったワークショップを通して、森の木の知識と技術を深めたインタープリター（自然案内人）を育成します。◆道志水源林の手入れ（枝打ちや間伐など）/森林や林業に関する勉強会/間伐材を使ったクラフト/地元の製材所の見学（予定）

主催：ヨコハマ倉造空間 参加費：5000円

yokohamasouzou@yahoo.co.jp

<http://www.geocities.jp/yokohamasouzou/>

申込方法：次の項目にご記入の上、メールでお申し込みください。①氏名、②ふりがな、③性別、④生年月日、⑤年齢、⑥住所、⑦電話番号、⑧メールアドレス。定員30名、18歳以上

締切：8月22日（定員になり次第締切）

会場：山梨県道志村（宿泊は村内のキャンプ場・ネイチャーランドオム）

2005年9月5日（月） 13:15～16:00

「環境と平和」の講演会 美しい地球を子どもたちに

内容：身近な環境問題から、地球温暖化などの地球規模の異変まで、地球環境の現状と、私たちがどうすればいいか、などのこの分野の第一人者、高木善之氏を招いて講演会を開催します。

講師：高木善之氏（NPO法人ネットワーク「地球村」代表）、定員220名

主催：川崎市地域女性連絡協議会（川女連）

TEL:044-555-7866 FAX:044-555-7874

<http://www.web-k.jp/kawajoren/>

参加費：前売り1000円、当日1500円

会場：ホテルザ・エルシィ5階「銀河」（武蔵小杉駅徒歩3分）

平成17年9月10日（土） 11時～16時30分

よこはま川のフォーラム2005総集編 シンポジウム

内容：横浜市内の水辺で行われたイベントの“パネル展示”と“大岡川流域の紹介”「川、まち、歴史」をテーマにしたパネルディスカッションを行います。自由参加 参加費：無料。

主催：よこはま川のフォーラム実行委員会

FAX:045-774-9340 yk-forum@bakuhouse.com

会場：横浜市開港記念会館

平成17年9月10日（土）

よこはま川のフォーラム2005総集編 楽しいイベント

内容：■大岡川散歩 吉田勘兵衛の足跡と開港の歴史をたどる 吉田家ゆかりの大井戸や新橋と横浜を結んだ初代横浜駅（現在の桜木町駅）や灯台僚跡など訪ね、吉田勘兵衛の足跡と開港の歴史をたどります。・集合：9:30、京浜急行線南太田駅前（解散予定11:30。少雨決行）

■大岡川河口体験 大岡川の河口でカヌーに乗ろう 大岡川河口で地引網を使って魚介類の調査を体験します。取れた魚をみんなで調べてマップに記録します。調査の後はカヌーに乗って川面から横浜の町を眺めてみましょう。・集合：9時、大岡川の弁天橋（雨天中止）

主催：よこはま川のフォーラム実行委員会

FAX:045-774-9340 yk-forum@bakuhouse.com

申込方法：FAX、メール、ハガキに以下の事項を記入して事務局へ①参加したいプログラム名、②〒、③住所、④氏名（ふりがな）、⑤年齢、⑥TEL

締切：9月2日必着（ただし定員になり次第締切）

参加費：無料

2005年9月30日（金）

東海村JCO9・30臨界被曝事故6周年東京圏行動

日時：10:35～追悼行動（経産省原子力安全保安院前）、18:30～都内で集会

主催：東海村JCO9・30臨界被曝事故6周年東京圏行動実行委員会 連絡先：たんぽぽ舎

TEL:03-3238-9035 FAX:03-3238-0797

<http://www.jcan.net/tanpoposya/hyoushi.htm>

募集・協力

募集期間：2005年7月11日から8月31日（水）

「第一回 NPOアクセシビリティ支援プログラム」の募集

内容：真摯に情報ノーマライゼーション社会の実現を望むNPO法人の皆様を対象に、障害者や高齢者が容易にアクセスできるホームページづくりに必要な資金助成と技術支援を行います。

■対象団体：NPO法人のみ ■資金助成：WEBアクセシビリティ化に必要な資金として、1団体当たり最高50万円を助成します ■選考：選考委員会で厳正な選考を行い、結果を平成17年10月下旬に申請団体に電子メールでお知らせします。ホームページ上にも公表します

主催：NPO法人 イー・エルダー「アクセシビリティ支援プログラム事務局」

連絡先：〒105-0043東京都渋谷区道玄坂1-15-3-309 info@access-sp.jp <http://web.access-sp.jp/>

申込方法：所定の「助成申請書」をダウンロードし、「募集要項」を参照の上、必要事項を記入し、下記事務局宛送付願います

締切：8月31日（水）

募集期間：2005年7月1日（金）～9月15日（木）

学生社会起業家研修 in England

内容：このたびの研修は専門家の講演にはじまり、起業家教育に関わる様々な人との交流を通して、社会的事業への認識を深め、起業へのヒントを見出し、ノウハウを身につけることを目的としています。

■日程：11月2日（水）～15日（火）、14日間

■場所：サセックス州（研修地およびステイ先）

■研修ツアー料金：450,000円（成田発）

■対象・募集定員：社会起業家を目指す人、NPO・NGOに関心のある人、国際交流に関心のある人など。30名

主催：(特) ネイチャリング・プロジェクト

連絡先：〒892-0842鹿児島県鹿児島市東千石町14-2 TEL:099-219-5739 FAX:099-219-5728

info@naturing.org <http://www.naturing.org/>

申込方法：詳しくはホームページにて

締切：9月15日（木）※定員になり次第締切

応募期間：～平成17年8月19日（金）

平成17年度地球環境インターンシッププログラム（国内・国外）募集

内容：日本の環境NGOの新たな展開に即した次世代を担う中核的人材の育成を目的として、国内外の事業歴が長く、あるいは実績のある団体において、マネージメント手法や行政サイドへの対応等、非営利組織の経営に必要な知識習得や、フィールドでの特定プロジェクト活動を体験する機会を提供します。

■ I 国内インターンシッププログラム

1. 応募資格：①環境NGO・NPOの職員またはその団体に属して活動している方、または大学・大学院に在籍の方、②研修場所（派遣先）まで通勤可能な方、③心身ともに健康である方 2. 募集人員：1団体1～2名。合計5名程度 3. 受入団体：①（特）環境市民、②（財）オイスカ、③（特）市民フォーラム21・NPOセンター 4. 研修期間：平成17年8月～平成18年2月の期間内で2～6ヶ月間の研修を予定

■ II 国外インターンシッププログラム

1. 応募資格：①環境NGO・NPOの職員またはその団体に属して活動している方、②原則として大学・大学院に在籍中でないこと、③心身ともに健康である方、④研修に必要な英語能力を有すること 2. 募集人員：1団体1名。合計2名程度 3. 受入団体：①世界ア自然保護連合アジア地域事務所、②（財）オイスカ 4. 研修期間：平成17年9月～平成18年2月の期間内で2～5ヶ月間の研修を予定

主催：（独）環境再生保全機構 地球環境基金部

連絡先：（財）自然環境研究センター気付地球環境基金インターンシッププログラム事務局

TEL：03-5824-0966 FAX：03-5824-0956

<http://www.erca.go.jp/>

申込方法：希望する受入団体、プログラムを選択の上、連絡先まで提出。応募書式はホームページからダウンロード可能。

締切：平成17年8月19日（金）必着

募集期間：平成17年6月1日～9月8日

平成17年度 第5回NGO/NPO・企業環境政策提言募集

内容：あなたが考える「環境政策」を実現させてみませんか？応募資格：NGO/NPO及び企業。応募された提言はすべて「NGO/NPO・企業環境政策提言集」としてとりまとめ、地球環境パートナーシッププラザのホームページにて公開する予定です。

主催：「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」

連絡先：環境パートナーシップオフィス（環境省民間活動支援室） TEL：03-3406-5180

<http://www.env.go.jp/guide/kobo.html>

申込方法：応募フォーマットに必要事項を記入の上、事務局までメールまたは郵送。郵送の場合は電

子データを入れたフロッピーディスクも同封。

締切：9月8日（必着）

山谷（東京）労働者へ夏物衣服をおくりたい。ご協力をお願い致します。

内容：1. 送りたい品物（今回は夏物に限らせていただきます）。男物下着、Tシャツ、靴下、タオルなど（せんとく済みのものをお願いします）
2. 送付先 都労連交流会。またはたんぼぼ舎へ直接持ち込んで頂いてもけっこうです。（午後1時より）
3. 今回の受付締切日 2005年7月30日（土）までをお願い致します。8月初めにまとめて山谷へ運ぶ予定です。

主催：都労連交流会 担当：柳田

連絡先：〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-2-13 三崎信愛ビル502室 03-3261-1128（午前中）

書籍情報・報告書

「イラク 占領と核汚染」

内容：米英軍のイラク攻撃は、イラクの人々に何をもたらしたのか！？イラク戦争開戦前夜から占領下を含め通算8回、イラク現地を取材。軍事占領と劣化ウラン弾、イエローケーキなどによる放射能に苦しむ人々の姿を、鮮烈な写真文章で伝えるフォトドキュメント（高文研チラシより抜粋）A5判160ページ 写真96ページ 文章64ページ。

1 戦争前夜、2 占領の日々、3 核汚染

発行：高文研 2,100円（8月上旬発売予定）